※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００１

令和５年度　商業科

教科	商業科	科目	商品開発と流通	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	商品開発と流通（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・東淀川区内の和菓子店と共同で新商品を企画・開発し、製造・販売までを行うことで、商品開発の流れを学習する。
・教科書やビデオ等を用いて商品開発や販売促進について学習する。
・校内およびお店の方にプレゼンテーションを行うとともに販売促進活動を行う。
※生徒が企画した商品が実際に製造・販売される（店舗の売上を左右する）大変責任の重い内容である。何度もお店に伺い担当の方と企画会議を行う。そのため挨拶や身だしなみなど最低限のマナーを重視する。

2　学習の到達目標

商業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，商品開発と流通に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 商品開発と流通について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
(2) 商品開発と流通に関する課題を発見し，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
(3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び，商品開発と流通に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	商品開発と流通について実務に即して体系的・系統的に理解し，商品の企画からプロモーションまでの様々な場面で役に立つ商品開発に関する知識と，流通の立場から捉えた取引対象としての商品に関する知識を身に付けている。	商品開発と流通をはじめとした様々な知識や情報などを活用し，商品開発と流通の動向や課題を発見するとともに，ビジネスに関わる様々な立場に立って，妥当性と課題などの視点から，科学的な根拠に基づいて商品開発と流通に関する計画を立案したり，提案したりしている。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら商品開発と流通について学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち，他者と信頼関係を構築して積極的に関わり，商品開発と流通に関する学習活動に責任をもって取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
４／５月	商品開発と流通の概要・	●商品開発の意義と手順 ●商品開発演習 【準備】 和菓子業界の現状および市場調査と考察	a:商品開発の流れを理解し、現代市場の特徴と関連付けて、商品開発の意義と課題を見出すことができる。 b:商品開発の手順とともに、学習の見通しを学習の見通しを立てられている。 c:経済や消費者の動向について自ら学び、主体的かつ協働的に学習に取り組んでいる。	・課題プリント ・企画書 （個人）	・課題プリント ・企画書 （個人）	・課題プリント ・企画書 （個人）
６／７／８月	商品の企画・事業計画の立案・商品の開発	●商品コンセプトの策定 ●商品企画の提案 ●価格計画 ●商品開発演習 【企画会議】 ・企画の方向性の決定 ・企画案の提示 ・企画決定 ・第1次企画書作成 ・プレゼンテーション ・第2次企画書作成 ・プレゼンテーション	a:ブレーンストーミングなどの技法を用いて、アイディアの創出が行えている。 a:価格の設定方法を理解している。 b:市場調査から商品の企画に関する課題を発見する。 c:アイディア創出にあたり、主体的かる協働的な取り組みを行っている。 c:商品の企画について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、商品の企画に主体的かつ協働的に取り組んでいる。 c:プレゼンテーションに必要な技術を用いて，表現活動が行えている。	・課題プリント ・グループワーク ・企画書(班) ・プレゼンテーション ・相互評価	・課題プリント ・グループワーク ・企画書(班) ・プレゼンテーション ・相互評価	・課題プリント ・グループワーク ・企画書(班) ・プレゼンテーション ・相互評価

※令和４年度以降入学生用

9 ／ 10 ／ 11 ／ 12 月		●プロモーション計画 ●商品とデザイン ●商品開発演習 【企画会議】 ・第3次企画書作成 ・校内プレゼンテーション ・プレゼンテーション	a:市場調査から商品の企画に関する課題を発見する。b:企業におけるプロモーション活動の事例を取り上げ、それぞれの特徴を理解している。 b:パッケージについての考察が行えている c: パッケージデザインを作成できている。	・課題プリント ・グループワーク ・企画書(班) ・プレゼンテーション ・相互評価	・課題プリント ・グループワーク ・企画書(班) ・プレゼンテーション ・相互評価	・課題プリント ・グループワーク ・企画書(班) ・プレゼンテーション ・相互評価
1 月	商品の開発	●プロトタイプ ●セールスプロモーション ●商品開発演習 【採用商品の評価】	a: プロトタイプを用いたテストと評価により，課題を見つけ，改善する必要性を理解している。 b:企業の事例を取り上げて，セールスプロモーションの技法について分析できている。 c: コンピュータを用いて，ポスターデザインが行えている。	・課題プリント ・グループワーク ・企画書(班) ・プレゼンテーション ・相互評価	・課題プリント ・グループワーク ・企画書(班) ・プレゼンテーション ・相互評価	・課題プリント ・グループワーク ・企画書(班) ・プレゼンテーション ・相互評価
2 月	商品の販売	●商品の販売 ●商品開発演習 【店舗での販売実習】	a:商品の企画について理解している。 b:実習に積極的に取り組んでいる。 c:商品開発と流通について自ら学び主体的にレポートを作成しようと取り組んでいる。	・課題プリント ・レポート	・課題プリント ・レポート	・課題プリント ・レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度